



全国スキー協通信

〒114-0014 東京都北区田端 1-24-22 山柿ビル 3F TEL 03-5842-1931

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2024年6月1日 No.522 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

第33期代表者会議開催される

6月9日13時から第33期代表者会議が役員（常任理事、専門部長、会計監査）13人、各都道府県から選出された代議員36人の出席で開催されました。

内山代議員（青森県）を議長、吉越代議員（神奈川）を資格審査員として和田会長の挨拶で会議を開会しました。

会長挨拶では新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり、ゲレンデに外国人も増え少しずつコロナ禍前のにぎわいを取り戻しつつある事、全国スキー協が昨年POW JAPANに加入し気候変動に取り組むアスリートとともに活動に参加、気候危機についてできることからアクションを起こしていかなければならない事、ロシアによるウクライナ侵略から2年4か月になり戦争の長期化、イスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘が始まって8か月、ガザでの死者は3万5千人を超える中で平和であってこそスキーができることに確信を持ち早期に話し合いによる解決を望むものです。

回りのスキーヤーや会員が参加しやすいスキー行事や例会など工夫と新しい企画が望まれます。Facebook等による発信や各県ホームページの充実による発信などで各地クラブの元気な行事を旺盛に取り組み前進に向けていきたいものです。と話されました。

資格審査委員から代表者会議が成立している報告を受けた後、理事長から組織局の議案として①50回記念競技大会の報告②8月24日～25日に青森市で開催する「サマーセミナー2024」の告知、③ホームページ制作の遅れと今後の進め方④「志賀高原内でスクール等営業活動におけるご案内」について⑤スノーボード指導員の受験年齢の変更についての規約改正について提案されました。

その後、各部局から昨年の総会議案を補足する説明と来年度日程の提案、総務局から1年度の決算と2年度目の予算提案がされました。

ホームページの進め方についての質問に答え、休憩を挟んで各組織からのアンケート集計結果をポイント解説をしました。北海道で初開催された「デモ選・テクニカルコンペ」が30人の参加で成功しデモが2名誕生、技術向上熱が高まっている事。千葉県ではクラブが誕生・会員増をはじめ青森で会員が2名増、大阪や兵庫でも増減ではマイナスにはなっているけど新会員が増えていること等、第50回競技大会へ向けて神奈川や群馬では積極的な取組で参加者が増加した事が注目されます。また、東海ブロックのフェスタでは150人の目標をこえる参加者で成功裏に終了する事が特徴的でした。

新潟県から「障がいをもつ会員がゴンドラや搬器に搭乗するときに周りの人や係員に周知・協力して貰えるようなワッペン等の運動を進めて欲しい」との意見がアンケートにありました。

討論では予算案に会員登録数の見直しを求める意見、ホームページやSNSの重要性、各県の組織アンケートを補足する発言と新潟からの意見を後押しする発言がありました。

討論の纏めでは新潟からの提案を具体化する報告を進めることを提案、採決の結果、圧倒的な賛成で議決し萩原副会長から「息高く運動を進めましょう」との閉会挨拶を頂き散会しました。

1月27日(土)～1月28日(日)

スキーフェスタ in 妙高杉ノ原に参加して 白くま SC 酒井伸一

「皆様へ感謝!感謝!!」「泊りでスキーに行けたぞ!!」

私は新潟県スキー協に入会してもうすぐ40年になります。12年前に大病をして、後遺症が残り『脊椎梗塞・障がい者4級』です。普段は両杖を使い、日常生活・自営業の仕事をして 冬には以前のようにスキーを滑りたいとリハビリをしています。

今シーズンは1月15日(月)上越国際当間、1月21日(日)ニューグリンピアへ1人で行って来ました。そして今の自分の身体を過信してスキーフェスタにも参加しました。しかし、現実には宿の玄関の階段・地下室にある乾燥機からスキー用具を持って階段を登ることは無理でした。そしてスキー場でもゴンドラに乗り降りするときも皆さんからサポートしてもらいました。2日目、1人で滑ろうと思っていましたが、新津の刈屋さんが私を見守りしながら、色々と指導してもらい 楽しく滑ることが出来ました。そして1日目の反省も踏まえゴンドラに乗る時に係りの人に一言「私は障がいがあるので、ゴンドラのスピードを遅くしてください。降りる時も遅くしてと連絡してください。」と頼みました。多くのお客さんがいる中で、このようなお願いをすることが大変勇気がいることだと 今回しみじみと感じましたが、安心して乗り降りすることが出来ました。そこで私は思いました。ぜひ全国スキー協で障がい者や、手助けが必要な方が一目でわかるマークを作り、腕章やシール・ゼッケンなどを考えてもらえないでしょうか?

また、この2日間で一番困ったのはトイレでした。今年行ったスキー場はどこもトイレが少なく、中にはトイレがある食堂が営業するまでは閉まっていて使用できないところがありました。

最後に夜の交流会ではみんながスキー大好きで、楽しんでいること。自分がスキー協に入会したことは間違っていない事を再確認し、こんな楽しいスキー協にもっと若い人が参加してくれたらなあ・・・と思いました。

2日間、様々なサポートをしていただき有難うございました。

「スポーツのひろば」別冊全国スキー協機関誌

スキーを愛する スキーが大好き スキー仲間の雑誌

スキースイト

年5回発行 定価320円 年間購読2,000円(送料込)

2024 年度公認資格者年次登録 各行事の開催計画書/開始報告書の提出について

全国スキー協指導員部

『指導員規程』、『コースセッター規程』、『山スキーリーダー規程』、『スノーボード指導員規程』に基づき、2024年度の全国勤労者スキー協議会公認資格者年次登録および養成・研修・検定会・スキーテクニカルテストの開催計画書/報告書の受付を開始しました。

必要な様式は以下からダウンロードしてご使用ください。

- ・スキー指導員：http://www.mmjp.or.jp/wsaj/information/202401_ski.xlsx
- ・スノーボード指導員：http://www.mmjp.or.jp/wsaj/information/202401_board.xlsx

◆ 提出方法

- **公認資格者年次登録名簿**：全国から提供した名簿（エクセル）に必要事項を記載し提出
最新の名簿（研修修了状況入り）を各都道府県理事へ6月初旬にお送りしています。
 - **各行事の開催計画書/開催報告書**：様式に基づきエクセルファイルで提出
- ※ いずれもメール添付の電子データでの提出になります（郵送での受付は行いません）。

「公認資格者年次登録名簿」「各行事の開催計画書」の締め切りは9月30日

◆ 提出先（下記のメールアドレスにファイル添付をお願いします）

- **公認資格者年次登録名簿（必要様式を含む）**：各都道府県理事に送付したメールのアドレスに返信
 - **各行事の開催計画書/開催報告書**：akira-f@h00.itscom.net
- ※ いずれも全国スキー協のメールアドレスではありません。ご注意ください。

◆◆ 「公認資格者年次登録」手続きの注意点

1. 「公認資格者年次登録」は、都道府県ごとにとりまとめた手続きとなります。
2. 「公認資格者年次登録」は、①全国より各都道府県の全国理事へメール添付でお送りした「公認資格者登録名簿」ファイル（エクセル）に必要事項を記入・修正の上でのファイル返送、②年次登録料の納付の2つが必須です。また前提として③会費の納入（少なくとも公認資格者分の）も必要です。
3. 「公認資格者登録名簿」には個人ごとに公認資格を継続する（年次登録をする）方を明記していただきます。資格休止の方は指導員資格休止申請書（様式13号）を、資格を継続しない方は資格返上申請書（様式14号）を、資格変更の場合は指導員資格変更申請書（様式17号）を、名誉指導員への移行は名誉指導員推薦申請書（様式18号）を、所属スキー協を通じて「公認資格者登録名簿」との同時提出が必要です。
4. 年次登録料は1人2,000円。地方スキー協への還元金は1人500円ですので、全国スキー協へは1,500円を納入してください（ただし、コースセッターのみの方の年次登録料は還元金はなく、2,000円の納入です）。公認資格を継続する（年次登録をする）人数分を9月30日までに確実に納入してください。
5. 2024年度会費納入が、年次登録の条件になります。もし、会費の集金が遅れるときは、公認資格を継続する（年次登録をする）方の分の会費は少なくとも9月30日までに納入してください。
6. 資格休止者及び名誉指導員も年次登録（登録料納入を含む）が必要です。

◆◆ 各行事の「開催計画書」と「開催報告書」の提出の注意点

1. 養成・研修・検定会・スキーテクニカルテストを開催する際、指定された様式を使った開催計画書を9月30日までに提出してください。
また、応用発展技術研修の開催計画書も「指導員研修会 開催計画書（様式3号）」をお使いください。
2. 養成や研修が修了した際は、必ず「開催報告書（様式7号）」と「名簿（様式8号）」を行事終了後2週間以内に提出してください。
検定会は「指導員検定会採点表（様式9号）」、「指導員検定会受験票（様式6号）＜合格者のみ＞」、「指導員検定会受講申込書（様式5号）＜受験者全員分＞」も一緒に提出してください。

【注意点】：事後報告は認められません

開催計画書が未提出の場合、全国として委嘱していない行事となり養成・研修・検定会・スキーテクニカルテストなどが不成立になります。ごく一部で、行事開催後、開催報告書と一緒に開催計画書が提出され、担当した講師が未研修という事態が起きています。この場合、行事として認められませんので、受講（受験）された方々に迷惑になるばかりか、組織自体の信頼にもかかわります。事後報告は認められませんのでご注意ください。



全国スキー協
会主催

Summer Seminar in Aomori

集え！晩夏の青森へ

～地球温暖化をみんなんで学ぼう～

日時 2024年8月24日(土) / 25日(日)

会場 ホテル青森 会議室

〒030-0812 青森県青森市堤町1丁目1-23 ☎017-775-4141

参加費 20,000円

24日 講演 私とブルーモリス

ブルーモリス前会長 阿部 悠二さん

講演 八甲田の自然と地球温暖化

講師未定

25日 講義 リーダーテキストを深めよう

全国スキー協理事長 小川 洋さん

講義 なぜ谷回りターン技術なのか？（仮）

全国スキー協副会長 荻原 正治さん

講義 指導員規定の理解と運営

青森スキー協教育部



● オプション企画第1弾

三内丸山遺跡とねぶた館(ワ・ラッセ)

8月23日(金)13:00

JR新青森駅南口1F集合

入館料は実費

三内丸山遺跡を見学した後、ねぶた館(ワ・ラッセ)に移動します。

● オプション企画第2弾

青森ベイエリア/ルネイク・ウォーキング

8月24日(土)9:00～

ホテル青森玄関集合

参加費は¥1,000～¥1,500円程度

青森県/ルネイク・ウォーク連盟の指導員の指導のもとホテル青森玄関を出発し約2時間のウォーキングを行います。

(指導員理論研修了扱いとなります)